

茨木高校野球部

OB会報

発行

大阪府立茨木高校

野球部OB会

「つながっていく、野球部」

高32回 寺井 香代



はじめに3月11日に発生いたしました大震災により、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、被災地の復旧活動、支援活動に従事されている多くの方々に深い敬意を表します。

新緑のころ、OBのみなさまには益々ご健勝のことと存じます。高校32回マネージャーをさせていただきますました寺井(旧姓畑)と申します。本来ならば主将であった寺井さんが寄稿されるころなのですが、ご連絡先がわからず、近年グラウンドに足を運ばせていただいているご縁でお話を頂戴しました。僭越ではありますが、これまでの感謝の意をこめて書かせて

いただくことにいたします。

卒業してからずいぶん時間を経て、4年前に息子が62期生として茨高野球部に入部し、再びグラウンドと関わりをもたせていただく日々がはじまりました。30年前とは校舎もグラウンドもすっかり変わってしまった、別の場所のようでも、そこには昔と変わらぬエマークのユニフォームと帽子、伝統の4本ラインのストッキング・・・忘れていた高校時代にしばしタイムスリップ。

私が入部させていただいた当時、マネージャーの仕事はといえば、試合の記録、毎日の部室の掃除とお茶の用意。公衆電話から試合の相手校を求めてかける。向こうからかかって来た時には校内アナウンスがあるので事務室までダッシュ。今思えば私は本当に気のきかないマネージャーで、この年になつて反省しきりです。その頃、代々の監督は大学生の先輩がされており、大会予選が近づくと大学生OBの方々が日ごとに顔をだしてくださつて、グラウンドは活気づい

たものでした。暑い暑い夏の訪れは今も昔も同じです。当時は気づいていなかったのですが、OBの方々には野球をする環境を物心両面から整えていただいていたのだと感じています。

そして30年後・・・グラウンドにはジャージ姿のマネージャー。練習にしっかりとかわり、きびきびと動く彼女たちがちよつとまぶしくて。試合を観にいくと、いつも高4回の吉川さんをはじめとする大先輩方が来ておられ、そこに保護者も加わり自然と応援団ができていきました。OBでありつと茨高野球部を支えてくださつていた池永先生が監督で、3年時には和田先生が赴任され指導に加わつてくださり、高62回はとても恵まれた学年だったと思います。先生方のご指導のもと練習を重ね、2009年、忘れられない夏がやってきました。手に汗握る接戦を制し、5回戦進出、ベスト16という成績で彼らは茨高生として最後の夏をしめくることができました。そして、その間、思いがけないほどたくさんの方々の応援をいただいたのです。保護者、在校生はもとより先生方、そしてOB、OGのみなさま。万博球場のスタンドはさながら同窓会のよう、いろいろな世代の先輩や後輩の方々にお目にかかることができました。スタンドに來られな

てもHPや新聞をみて気にかけてくださった方々もいらつしやつたでしょう。卒業して何年、何十年たとうとも「茨木高校野球部」というキーワードでつながっていると感じた夏でした。

茨木高校野球部の歴史には、人と人とのつながりが生きているのです。野球部HPでは、ふとした時に立ち寄れるなつかしい場所をつくつてくださっています。そしてグラウンドでは、あのユニフォームが今も疾走しています。そこにはなつかしい出会いや新しい出会いも。

またやつてくる今年の夏も、暑いスタンドで熱い夢をみなさんと共有できることを願う今日この頃です。



部長より

高21回 池永 徹



新緑の候、OBの皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

さて、私は3月末で定年退職いたしました。しかし、4月からも再任用教員として今までと何ら変わりなく茨木高校で勤務しています。定年後も再任用で勤務することを希望していましたが、勤務先は他の高校になる可能性もありました。また、フルタイムで勤務すると給料は多くなりますが年金が支給されず、手に入るお金は再任用で週3日勤務して年金をもらうのと同額になります。それで、週3日勤務が第1希望でしたが、茨木高校でのフルタイム勤務を要請され受託しました。そのため、現在も茨木高校で理科・地学の授業を担当し、顧問として野球部を指導しています。

和田監督一人で野球部の面倒をすべて見るのはたいへんです。さいわいにも茨木高校に残ることになりましたので、グラウンドでの選手の指導以外のことはすべて担当して和田監督をサポートしたいと思っています。気持ちを新たにしてお取り組みますので、よろしくお願いたします。